

特殊金属エクセル

埼玉の再エネ電力比率向上

太陽光発電設備増設などで

特殊金属エクセル
は、埼玉事業所（埼玉
県比企郡ときがわ町）
において2024年に

非化石証書を利用したCO₂フリー電力の購入に切り替え、すでに電力起因のカーボンニュートラルを実現しているが、2025年以降はさらに再生可能エネルギー比率を高める戦略を推進する。太陽光発電設備を増設するとともに、蓄電設備の導入、再生可能エネルギー由来のCO₂フリー電力の購入などを進める。

埼玉事業所の年間使用電力量は約700万キロワット。21年に約15%を賄う規模の太陽光発電設備を導入し、今後は遊休地や今後購入予定

の近隣地を活用し太陽光発電設備を増設する予定で、25年から自家消費型への転換を進め、この一環で26年に蓄電池も導入する。26年からは購入電力を再生エネルギー由来のCO₂フリー電力に切り替えていく計画を進めている。

サーキュラーエコノミー対応では、「材料や副資材などの廃棄物発生を減らす製造工程の設計」、「製造工程で使用する層間紙の再利用」、「高リサイクル率の原材料の採用、紙や材料スクラップの分別廃棄」などに取り組んでいる。

